



## Cisco ボイスメール ポートの設定

オプションのソフトウェアである Cisco Unity は、Cisco Unified コミュニケーション ソリューションの一環として利用され、ユーザがコールに応答できないときに、ボイス メッセージ機能を提供します。この項では Cisco ボイスメール ポートの追加、設定、更新、および削除に必要な手順について説明します。この手順は Cisco Unified CallManager 管理ページで [ボイスメール] メニューから [Cisco ボイスメールポート] を選択することによって実行できます。

Cisco Unity の設定の詳細については、『*Cisco Unified CallManager 4.0 Integration Guide for Cisco Unity 4.0*』を参照してください。

Cisco Unity ボイスメール サーバに関連したポートは、Cisco ボイスメール ポート ウィザードを使用せずに、Cisco Unified CallManager データベースに追加したり、削除したりすることができます。

ここでは、次の内容について説明します。

- [Cisco ボイスメール ポートの検索 \(P.62-2\)](#)
- [Cisco ボイスメール ポートの設定 \(P.62-4\)](#)
- [Cisco ボイスメール ポートの設定値 \(P.62-5\)](#)
- [Cisco ボイスメール ポートの削除 \(P.62-8\)](#)

## Cisco ボイスメール ポートの検索

通常ネットワーク内にはいくつかの Cisco ボイスメール ポートが存在することがあるので、Cisco Unified CallManager では、固有の条件を指定して、特定の Cisco ボイスメール ポートを見つけることができます。Cisco ボイスメール ポートを見つける手順は、次のとおりです。



(注)

Cisco Unified CallManager の管理ページでは、ブラウザセッションでの作業中は、Cisco ボイスメール ポートの検索設定が保持されます。別のメニュー項目に移動してからこのメニュー項目に戻ってくる場合でも、検索に変更を加えたり、ブラウザを閉じたりしない限り、Cisco ボイスメール ポートの検索設定は保持されます。

### 手順

**ステップ 1** [ボイスメール] > [Cisco ボイスメールポート] の順に選択します。

[ボイスメール ポートの検索と一覧表示 (Find and List Voice Mail Ports)] ウィンドウが表示されます。2 つのドロップダウン リスト ボックスを使用して、Cisco ボイスメール ポートを検索します。

**ステップ 2** 最初の [検索対象: ボイスメールポート、検索条件:] ドロップダウン リスト ボックスから、次の条件のいずれかを選択します。

- [デバイス名]
- [説明]
- [電話番号]
- [コーリングサーチスペース]
- [デバイスプール]
- [デバイスセキュリティモード]



(注) このドロップダウン リスト ボックスで選択する条件によって、検索時に生成される Cisco ボイスメール ポート リストのソート方法が決まります。たとえば、[デバイスプール] を選択すると、[デバイスプール (Device Pool)] 列が結果リストの左側の列に表示されます。

2 番目の [検索対象: ボイスメールポート、検索条件:] ドロップダウン リスト ボックスから、次の条件のいずれかを選択します。

- [が次の文字列で始まる]
- [が次の文字列を含む]
- [が次の文字列で終わる]
- [が次の文字列と等しい]
- [が空である]
- [が空ではない]

**ステップ 3** 必要に応じて適切な検索テキストを指定し、**[検索]** をクリックします。また、ページごとに表示する項目の数も指定できます。



**ヒント** データベースに登録されている Cisco ボイスメール ポートをすべて検索するには、検索テキストを入力せずに **[検索]** をクリックします。

検出された Cisco ボイスメール ポートのリストが、次の項目別に表示されます。

- [デバイス名 (Device Name)]
- [説明 (Description)]
- [デバイスプール (Device Pool)]
- [ステータス (Status)]
- [IP アドレス (IP Address)]



**(注)** 該当する Cisco ボイスメール ポートの横にあるチェックボックスをオンにして **[選択項目の削除]** をクリックすると、[ボイスメールポートの検索と一覧表示 (Find and List Voice Mail Ports)] ウィンドウから複数の Cisco ボイスメール ポートを削除できます。ウィンドウ内の Cisco ボイスメール ポートをすべて削除するには、[すべてを選択] ボタンをクリックし、**[選択項目の削除]** をクリックします。

**ステップ 4** レコードのリストから、検索条件と一致するデバイス名、説明、または関連するデバイスプールをクリックします。

選択した Cisco ボイスメール ポートがウィンドウに表示されます。

#### 追加情報

P.62-8 の「[関連項目](#)」を参照してください。

## Cisco ボイスメール ポートの設定

Cisco Unity ボイス メッセージ システムを Cisco Unified CallManager に接続するには、Cisco Unified CallManager データベースに Cisco ボイスメール ポートを追加する必要があります。



### ヒント

新規 Cisco ボイスメール サーバとポートを追加したり、既存のサーバに複数のポートを追加するには、この項で説明されている手順のほかに、Cisco ボイス メール ポート ウィザードを使用することもできます。詳細については、P.63-1 の「Cisco ボイスメール ポート ウィザード」を参照してください。

個々の Cisco ボイスメール ポートを Cisco Unified CallManager データベースに追加する手順と、既存のボイスメール ポートを更新またはコピーする手順は、次の通りです。

### 手順

**ステップ 1** [ボイスメール] > [Cisco ボイスメールポート] の順に選択します。

[ボイスメール ポートの検索と一覧表示 (Find and List Voice Mail Ports)] ウィンドウが表示されます。

**ステップ 2** 次のいずれかの作業を行います。

- Cisco ボイスメール ポートとその設定をコピーするには、該当する Cisco ボイスメール ポートを見つけます (P.62-2 の「Cisco ボイスメール ポートの検索」を参照)。  
[検索結果 (Search Results)] リストから、コピーするボイスメール ポートに対応する [コピー] アイコンをクリックし、ステップ 3 に進みます。
- 新しいボイスメール ポートを追加するには、[新規追加] ボタンをクリックします。  
[ボイスメールポートの設定 (Voice Mail Port Configuration)] ウィンドウが表示されます。ステップ 3 に進みます。
- 既存の Cisco ボイスメール ポートを更新するには、該当するボイスメール ポートを見つけます (P.62-2 の「Cisco ボイスメール ポートの検索」を参照)。  
更新するボイスメール ポートをクリックし、ステップ 3 に進みます。

**ステップ 3** 適切な設定値を入力します (表 62-1 を参照)。

**ステップ 4** [保存] をクリックします。

既存の Cisco ボイスメール ポートの基本設定をコピーして、別の Cisco ボイスメール ポートに適用する場合は、[ポート名 (Port Name)] フィールドと [電話番号] フィールドを変更する必要があります。

### 追加情報

P.62-8 の「関連項目」を参照してください。

## Cisco ボイスメール ポートの設定値

表 62-1 では、Cisco ボイスメール ポートの設定値について説明します。関連する手順の詳細については、P.62-8 の「関連項目」を参照してください。

表 62-1 Cisco ボイスメール ポートの設定値

フィールド	説明
[デバイス情報 (Device Information)]	
[ポート名 (Port Name)]	<p>Cisco ボイスメール ポートを識別する名前を入力します。Cisco ボイスメッセージシステム上でポートごとにデバイスを追加する必要があります。24 個のポートがある場合は、24 個のデバイスを定義する必要があります。</p> <p>名前は 9 文字以内にしてください。</p> <p> (注) Cisco Unity では、この名前が CiscoUM-VI1 または Cisco UM-VI2 などの Unity Telephony Integration Manager (UTIM) コンフィギュレーション ファイルの名前と一致している必要があります。</p>
[説明]	デバイスの目的を明確にした説明を入力します。
[デバイスプール]	デフォルト値または特定のデバイス プールを選択します。
[コーリングサーチスペース]	<p>ドロップダウン リスト ボックスから、適切なコーリング サーチ スペースを選択します。コーリング サーチ スペースは、このデバイスからコールされる番号を見つけるために検索されるパーティションの集合から構成されます。登録者の番号およびネットワーク デバイスへのコールを可能にするコーリング サーチ スペースの名前を選択します。</p> <p>Max List Box Items エンタープライズ パラメータを使用して、このドロップダウン リスト ボックスで表示するコーリング サーチ スペースの数を設定できます。</p> <p> (注) リスト ボックスの最大項目を設定するには、[システム] &gt; [エンタープライズパラメータ] の順に選択し、[CCMAdmin Parameters] を選択します。</p>
[AAR コーリングサーチスペース (AAR Calling Search Space)]	自動代替ルーティング (AAR) の実行時にデバイスが使用するコーリング サーチ スペースを選択します。コーリング サーチ スペースは、帯域幅不足によってコールがブロックされないように、収集された (発信) 番号をルーティングする方法を決定するために検索されるパーティションの集合を指定します。
[ロケーション (Location)]	<p>デフォルト値 [Hub_None] を選択します。</p> <p>ロケーションは、このデバイスとの間のコールに使用可能な帯域幅の合計を指定します。ロケーションに [Hub_None] を設定すると、そのロケーションの機能では、このデバイスが消費する帯域幅を把握しません。</p>

表 62-1 Cisco ボイスメール ポートの設定値 (続き)

フィールド	説明
[デバイスセキュリティモード (Device Security Mode)]	<p>ドロップダウン リスト ボックスから、ボイスメール サーバ ポートに適用するセキュリティ モードを選択します。ここに表示されるオプションは、データベースであらかじめ定義されています。デフォルト値は [選択されていません] です。</p> <p>ボイスメール サーバのセキュリティを設定する方法の詳細については、『Cisco Unified CallManager セキュリティ ガイド』を参照してください。</p>
<b>[電話番号情報 (Directory Number Information)]</b>	
[電話番号]	このボイスメール ポートに関連する番号を入力します。このフィールドと [パーティション (Partition)] フィールドとの組み合わせが、固有のものであることを確認してください。
[パーティション (Partition)]	<p>この電話番号が属するパーティションを選択します。パーティションを使用しない場合は、[&lt;None&gt;] を選択してください。パーティションを選択する場合は、そのパーティションを含むコーリングサーチ スペースを選択する必要があります。</p> <p>Max List Box Items エンタープライズ パラメータを使用して、このドロップダウン リスト ボックスで表示するパーティションの数を設定することができます。</p> <p> <b>(注)</b> リスト ボックスの最大項目を設定するには、[システム] &gt; [エンタープライズパラメータ] の順に選択し、[CCMAdmin Parameters] を選択します。</p>
[コーリングサーチスペース (Calling Search Space)]	<p>ドロップダウン リスト ボックスから、適切なコーリングサーチ スペースを選択します。コーリングサーチ スペースは、この電話番号からコールされる番号を見つけるために検索されるパーティションの集合から構成されます。パーティションを選択する場合は、そのパーティションを含むコーリングサーチ スペースを選択する必要があります。</p> <p>Max List Box Items エンタープライズ パラメータを使用して、このドロップダウン リスト ボックスで表示するコーリングサーチ スペースの数を設定できます。</p> <p> <b>(注)</b> リスト ボックスの最大項目を設定するには、[システム] &gt; [エンタープライズパラメータ] の順に選択し、[CCMAdmin Parameters] を選択します。</p>
[AAR グループ (AAR Group)]	このデバイスの自動代替ルーティング (AAR) グループを選択します。AAR グループは、帯域幅不足のためにコールがブロックされないように、コールをルーティングするためのプレフィックス番号を提供します。AAR グループ設定を [None] にすると、ブロックされたコールの再ルーティングは行われません。
[内線発信者ID表示 (Internal Caller ID Display)]	この回線からコールが行われるときに、着信側電話機に表示されるテキストを指定します。

表 62-1 Cisco ボイスメール ポートの設定値 (続き)

フィールド	説明
[内線発信者 ID 表示 (Internal Caller ID Display、ASCII 形式)]	この回線からコールが行われるときに、着信側電話機に表示されるテキストを ASCII 形式で指定します。
[外線番号マスク (External Number Mask)]	<p>外部 (発信) コールに対して、発信者 ID 情報をフォーマットするのに使用するマスクを指定します。このマスクには、最長 50 文字までを指定できます。発信者 ID 情報に表示する数字列を入力します。デバイスの電話番号を表すには、X を使用します。</p> <p>自動代替ルーティング (AAR) が帯域幅不足のためにコールをルーティングする場合、余裕のある帯域幅を使用できなければ、Cisco Unified CallManager は、このフィールドの値を使用してコールを発信します。</p> <p><b>例</b></p> <p>DN 1000 (外部マスク 9728131000) は DN 1001 (外部マスク 2144131001) をコールします。帯域幅不足のためにコールがブロックされると、Cisco Unified CallManager は、AAR プレフィックス番号を 2144131001 と一緒に使用して 1001 にコールを発信します。</p>

## Cisco ボイスメール ポートの削除

Cisco Unified CallManager から Cisco ボイスメール ポートを 1 つ削除する手順は、次のとおりです。

### 始める前に

電話番号が使用している Cisco ボイスメール ポートを削除すると、番号は Cisco Unified CallManager データベース内に残ります。ボイスメール ポートを使用している電話番号を特定するには、[ボイスメールポートの設定 (Voice Mail Port Configuration)] ウィンドウの [関連リンク] ドロップダウンリスト ボックスから [依存関係レコード] を選択し、[移動] をクリックします。依存関係レコードがシステムで使用可能になっていない場合、[依存関係レコード要約 (Dependency Records Summary)] ウィンドウにメッセージが表示されます。依存関係レコードの詳細については、P.A-4 の「[依存関係レコードへのアクセス](#)」を参照してください。

使用されているボイスメール ポートを削除しようとする、Cisco Unified CallManager はメッセージを表示します。現在使用されているボイスメール ポートを削除する前に、削除するボイスメール ポートを使用している電話番号すべてに別のボイスメール ポートを割り当ててください。P.48-3 の「[電話番号の設定](#)」を参照してください。

ボイスメール ポートを削除した後で、そのボイスメール ポートを使用していた電話番号を削除できます。P.50-4 の「[割り当てられていない電話番号の削除](#)」を参照してください。



### ヒント

既存のサーバからポートを削除するには、この項で説明されている手順の代わりに、Cisco ボイスメール ポート ウィザードを使用することもできます。詳細については、P.63-1 の「[Cisco ボイスメール ポート ウィザード](#)」を参照してください。

### 手順

- ステップ 1 P.62-2 の「[Cisco ボイスメール ポートの検索](#)」の手順を使用して、Cisco ボイスメール ポートを検索します。
- ステップ 2 削除する Cisco ボイスメール ポートをクリックします。
- ステップ 3 [削除] をクリックします。

### 追加情報

P.62-8 の「[関連項目](#)」を参照してください。

## 関連項目

- [Cisco ボイスメール ポートの検索 \(P.62-2\)](#)
- [Cisco ボイスメール ポートの設定 \(P.62-4\)](#)
- [Cisco ボイスメール ポートの設定値 \(P.62-5\)](#)
- [Cisco ボイスメール ポートの削除 \(P.62-8\)](#)
- [Cisco ボイスメール ポート ウィザード \(P.63-1\)](#)
- 『Cisco Unified CallManager システム ガイド』の「Cisco Unity 設定チェックリスト」